	①高齢者一般調査 ②これから高齢期を迎える方の調査 ②要支援・	要介護認定者調査	④特別養護者人ホーム 入所申込者調査		⑤介護サービス事業所調査	© 1	个護予防・日常生活圏域ニーズ調査
大項目	内容	大項		大項目	内容	大項目	内容
基本属性	・性別、年齢(Q1)、居住地域(Q2)、世帯構成(Q3) ・子の有無、子の心配ごと、相談先(Q5~5-1-1) ・暮らし向き(Q6)	基本原	・性別、年齢(Q1)、居住地域(Q2)、世帯構成(Q3) ・子の有無(Q4) ・暮らし向き(Q5) ・現在の生活場所(Q6)	基本情報	・提供サービス(Q1)、運営主体(Q2)、 <mark>従業員数(Q3)、</mark> 事業所の所在地区(Q4) ・要介護度別の利用者数(Q5) ・要介護度の1年間の変化の状況(Q6) ・稼働状況(Q7)	基本属性	・性別、年齢(Q1)、居住地域(Q2) ・世帯構成(Q3) ・主報的な介護の必要度(Q4)、 ・暮らし向き(Q5)
住まい	- 介護の有無(Q4) - 現在の生活場所(Q7) - 入居を新られた経験、理由(Q8、8-1) - 将来の住まいに対する不安(Q9) - 介護が必要になった場合に希望する暮らし方(Q10)	本人の状況			 ・介護サービスの従事者数(Q8) ・職種別従事者数(Q9) ・外部人材サービスの受入状況、人数、課題(Q10、10-1) 	日常生活	- 運動器の機能低下、転倒リスク(Q6~Q10) ・閉じこもり傾向(外出頻度)(Q11~12) ・低栄養の傾向(Q13、Q19) ・口腔機能の低下(咀嚼機能の低下)(Q14) ・口腔機能の低下(嚥下機能の低下)(Q15) ・口腔機能の低下(肺炎発症リスク)(Q16)
外出状況	- 外出をためらう問題点 (Q15) - 外出の積極性 (Q11) - 区立施設の利用状況 (Q12) - 自宅以外の居場所 (Q13) - 外出手段 (Q14)	特別資	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業所の従 事者・人材 育成	- 職種別の採用者数、離職者数(Q11) - 職種別の従業員の過不足状況(Q12) - 事業所全体の従業員の過不足状況(Q13、13-1、13-1-1) - 従業員の定着状況(Q14) - 人材確保の工夫(Q15) - (従業員の研修・教育等で困っていること(Q16) - 早期離職防止、定着促進の方策(Q17) - 早期離職防止、定着促進の方策(Q17) - 中期組動防止、定着促進の方策(Q17) - 外国人介護人材の活用状況、在留資格別雇用状況、国籍(Q19~19-2) - 外国人介護人材の活用状況、在留資格別雇用状況、国籍(Q19~19-2) - 外国人介護人材に用の課題、区に求める支援(Q20、21) - 人材確保・育成・定着に向け、今後実施したい取組(Q22) - 研修センターの研修の効果、活用していない理由(Q23、23-1)		- 口腔の健康状況(歯の本数(Q17) - 口腔ケアの方法の認知度(Q18) - 孤食の状況(Q20) - 認知機能の低下(Q21) - IADLの低下(Q22~26)
仕事や地域での活動	- 地域活動の参加頻度(Q17) - 孤独・孤立を感じる頻度(Q18)	老人木 入所申 況				地域での 活動	・地域づくりへの参加意向(Q27~28)・地域活動への参加状況、就業状況(Q29)
	・就労状況・働き続けたい年齢・働く理由・希望する就労の頻度、希望する就労時間、 <mark>希望する職種</mark> (Q16~16-2-2)・地域活動に参加するきっかけ、活動してみたい地域活動の分野(Q17-1、Q17-1-1)	-				たすけあい	・たすけあいの状況(Q30~33)
健康	·健康状況(Q19)、幸福度(Q20)		- 知っているサービス、利用しているサービスとその満足度(Q24) - 支給限度額に係る利用状況(Q25, 25-1) - ACPの状況、相手、話し合っていない理由(Q26~26-2) - 人生の最期を迎えたい場所(Q27) - 終末期・発の手続で不安なこと(Q28) - ショートステイの利用状況、利用目的(Q29, 29-1) - ショートステイの希望する時期の利用状況(Q29-2) - ショートステイの希望が最近の利用状況(Q29-3)		・サービス提供困難時の対応(Q24) ・苦情内容、対応方法(Q25、26) ・利用者・家族等からのハラスメントの状況、ハラスメントへの対応状況、期待する支援(Q27、27-1、27-2、28)	健康	- 主観的健康観(Q34) - 主観的幸福感(Q35) - うつ傾向(Q36~37) - 喫煙の習慣(Q38) - 現在治療中の病気等(Q39)
フレイル	・フレイルの認知度(Q21) ・介護予防・フレイル予防の取組状況、主観的な効果、取り組んでいない理由(Q22~22-2)	- 介護		サービスの質の向上	・第三者評価の受審状況(Q29) ・サービスの質の向上のための取組内容(Q30) ・事故防止の取組内容(Q31)	認知症	- 認知症状の有無(Q40) - 認知症に関する相談窓口の認知度(Q41)
	・介護サービスと保険料についての考え(Q23)、介護保険料や健康保険料の負担感(Q24)		・ショートステイを利用していない理由(Q29-4)				
介護保険	・要介護度、申請した原因 ・知っているサービス、利用 (Q33) ・支給限度額に係る利用状 ・サービス未利用の理由(C) ・ケアマネに対する満足度 ・サービス利用による変化 ・要介護度改善に対する考 ・介護サービス利用料の負	別でいるサービスとその満足度 深(Q33-1、33-1-1) 133-2) Q34、35) Q36) え(Q37)		- 事業所運営	- 介護保険外サービスの提供状況(Q32、32-1) - 間接業務の処理状況(Q33) - 間接業務・送迎業務の共同処理の意向、課題(Q34、34-1) - 要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応(Q35) - ターミナルケア・医療的ケアへの対応状況(Q36) - ACPの取組状況(Q37) - 医療機関との連携における取組内容、課題(Q38、39) - 事業運営上の課題(Q40)	あり、国か	お調査項目が示されている 。
医療	・かかりつけ医・歯科医・薬局の有無(Q25)、医療機関の受診状況(Q26)		・主な介護者の基本属性(Q31、31-1) ・介護期間(Q32) ・介護者の就労・就学状況、就労意向(Q33、33-1) ・ダブルケア(Q34) ・サービス利用時の所感(Q35) ・在宅介護の困りごと・負担(Q36) ・介護に関する相談先(Q37) ・介護者の視点から特養を申し込んだ理由(Q38) ・介護者の視点から特養に期待すること(Q39) ・介護者自身が受けたい支援(Q40)	総合事業	・令和9年介護保険制度改正に向けた国の検討内容による効果・影響 (Q41)		
	- 在宅療養の希望と実現可能性、その理由(Q27~27-1) ・リハビリ療養目的の入院の有無、入院した医療機関の場所・選択理由(Q28~28-2) ・ACPの状況、相手、話し合っていない理由(Q29~29-2) ・人生の最期を迎えたい場所(Q30)、終末期・死後の手続で不安なこと(Q31) ・人陰または施設への入所の際に身元保証してくれる人(Q32)、管理の範囲(Q32-1)、列(Q33) ・終活への興味、手助けが必要なこと、希望する相談相手、区に求める支援(Q34~37)	後の手続きをしてくれる人 介護多		地域との関わり	・地域との関わりの状況(Q42~42-2) ・ボランティアの受入状況、ポランティアセンター・コーナーとの連携、課題(Q43、43-1、44) ・練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること(Q45) ・ICT機器の活用状況(Q46) ・介護ロボットの活用状況(Q47) ・ICT機器や介護ロボットの導入・利用の課題(Q48)		
たすけあい	- ・在宅療養生活継続に必要 ・成年後見制度の認知度、成年後見制度の利用意向(Q40、41) ・必要な手助け、自分ができる手助け(Q38、39)				-今後整備が必要なサービス(Q49)・各サービスの需給状況(Q50)		
保健福祉 施策 (日常生活 の状況)	- 日常生活の困りごと(Q42) - 高齢者だと思う年齢(Q44)、将来の不安(Q45) - 流齢者だと思う年齢(Q44)、将来の不安(Q45) - 地域包括支援センターの認知度、 <mark>満足度、</mark> 期待する役割(Q46、48-1、47) - 保健福祉や介護保険の情報の入手方法(Q48) - 高齢者虐待の相談先、必要な虐待防止施策(Q49、50) - 認知症への関心、関心がある理由、関心がない理由(Q51、51-1、51-2)、認知症のイメ - 認知症の相談先、必要な認知症施策(Q53、64) - 認知症について関心があること(Q55)、配知症施策の認知度・利用意向(Q56) - ICT機器の利用状況(Q57) - ICT機器を持たない理由(Q67-2) - 今後力を入れてほしい高齢者福祉施策(Q60)、区への意見・要望(Q61)	ージ(Q52)		[居宅のみ] 居宅介護事 業所の考え	(看護)小規模多機能型居宅介護の紹介状況(Q51) -定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題およびニーズ(Q52) - 沖 地市型軽費老人ホームの受入れ状況(Q53) - 介護医療院の紹介状況、理由(Q54,56-1) - 小 でマネジャーの質についての感じ方(Q55) -自立・軽度化への課題(Q56) -ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと、課題(Q57,58) -地域包括支援センターとの連携内容(Q59) -医療機関との入退院支援・調整における課題(Q60) -在宅看取りで連携できる複数医師の有無(Q61)		
	- 日常生活で困ったときの相談先(Q43) - ICT機器の使用にあたっての困りごと(Q57-1-1) - ICT機器の使用の相談相手(Q57-1-2) - ICT機器で使用したい機能(Q57-1-3) - 見守りICTサービスの利用意向(Q58~59)	-		介護保険制度改正	-介護保険制度に対する要望・意見(Q62)		
介護家族の状況	・主な介護者の基本属性((・介護期間(Q59) ・介護者の就労・就学状況 ・が選がかり、がでは、・グラルケア(Q61) ・サービス利用時の所感(G ・在宅介護の困りごと・負担 ・介護に関する相談先(Q6) ・介護者自身が受けたい支	就労意向(Q60、60-1) (62) ((Q63) ()				赤字:	前回調査からの追加項目